

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	進行または再発尿膜管癌に対する mFOLFOX 療法の検討
	研究目的	尿膜管癌はまれな泌尿器悪性腫瘍で、手術治療が適応とならない患者さんに対する標準的な抗がん剤化学療法は決まっていません。尿膜管癌の一部は顕微鏡での細胞の特徴が大腸癌に類似した腸型腺癌にしばしば分類されることが知られています。その特徴をもつ場合、大腸癌に対する化学療法を行うことで効果が期待できることも報告されていますが、データとしては不十分です。当院でも過去に腸型腺癌タイプの進行・再発尿膜管癌の患者さんを複数名診療しており、上記の報告に基づいて、院内複数の専門医師・看護師・薬剤師で慎重に妥当性を議論のうえ、mFOLFOX 療法を適応しています。本研究ではその有効性、安全性について後方視的に検討し、報告することを目的としています。
	研究対象者	2019年03月から2022年07月に当センター血液・腫瘍内科で進行・再発尿膜管癌に対して mFOLFOX 療法の治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 9 月 12 日 ~ 西暦 2023 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	高橋 寛行
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液・腫瘍内科、泌尿器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当しません
試料・情報の利用停止および 情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター 血液・腫瘍内科 高橋 寛行 045(520)2222	